

磯っ子レポート

No.13



▲今年度新規にこども記者になった3人です。頑張ってレポートしますので、応援してください。左から蒲原さん(小5)、山口くん(小5)、齋藤さん(小6)。また昨年に引き続き、森山さん(中3)、齋藤くん(小6)もレポートします。

今回は、東海道松並木(東小磯)に咲いた水仙について4月9日(土)に、また、5月5日(木)に行われた国府祭についてレポートします。

東海道松並木に咲いた水仙

私達に説明をしてくれたのは、2年前の秋に、松並木に水仙の球根を植えた片野さんと外川さんでした。

実は私も、お父さんに連れられ、片野さん達と一緒に水仙を植えました。

その時はとても大変に思えたけれど、今年、キレイに咲いた水仙を見てみると、お話をしているようにくっつき合っている2つの水仙があったり、大きく空に口を開けているよ

うな水仙、寝ているように地面を向いている水仙など、色々な水仙があり、見ていて楽しかったです。植えてよかったです。なあと思いました。

(蒲原なな子)

私は何でこの場所に水仙を植えたのか、とても興味がありませんでした。

それは、大磯を一年中花がいっぱいな町にしようという考えから始まり、全国でも松並木が3つも残っているのはとても珍しい大磯町で、3つのうち真ん中に位置する松並木に、緑の松に似合う黄色の水仙を植えたら、みんながキレイだな、大磯に行ってみたいなと思うと考えたからです。



▲片野さん、外川さんの説明を熱心にメモするこども記者たち

2年前、そして昨年の秋の2回、場所を分けて球根を植

え、今年の秋に残りの場所に球根を植えると、来年の春には、大磯中学校から滄浪閣までの松並木すべてに水仙が咲き、水仙ロードが完成するの

(齋藤亜里沙)

水仙には色々な種類があるみたいですが、松並木には黄色のラッパズイセンが植えてありました。



▲仲良く寄り添う水仙

良く見てみると、2年前に植えたという二宮寄りの場所には大きく真っ黄色の水仙が、昨年植えた中央には少し白い黄色の小さい水仙が、まだ水仙がなく、今年植えるらしいので、どんな水仙が咲くのか楽しみにしていました。

松の木の下は土が固く、また松の樹液が強いので、他の花では育たないらしく、毒素を持つ水仙が選ばれたようです。

車を運転するドライバーさんなど、「きれいだ」という

メッセージがあちこちから伝えられているので、今年見れなかった人は、来年ぜひ行ってみてください。(齋藤啓太)

国府祭

僕は(相模国の総社)六所神社のはっぴを着て、六所神社から馬場公園まで、やりを持って「やくとおくさかえ」の掛け声で進みました。(20ページ、カメラスケッチ参照)

国府祭は神そろい山での座問答や馬場公園でおみこしが出たり、6つの神社が集まる大きなお祭りです、そのお祭りに参加して貴重な経験ができました。今後も大磯の色々な行事に参加して行きたいです。(山口健太)



▲勇猛にかつがれた六所神社の神輿

このコーナーを一緒に手伝ってくれるこども記者を募集しています。

問い合わせ

企画室 内線207

狭あい道路 有償譲渡金額の 算定基準

広報3月号でお知らせしましたが、狭あい道路後退用地の有償譲渡の金額、立木・工作物の補償基準の引き下げを7月1日以降の協議書提出から適用します。

町では、狭い道に面して建物を建てる場合には、建築基準法に定められている4メートルの道幅を確保し、住みよい安全なまちづくりの整備を進めています。皆さまの理解と協力をお願いします。

○後退用地の有償譲渡の額

固定資産評価額の30% (1㎡当り)

○立木・工作物の補償額

町が算定した額(限度額200万円)

◎問い合わせ 都市整備課

内線234・235

